

令和2年度庄内町振興審議会 第1回産業建設分科会 会議録

- 1 開催日時 令和2年9月18日(金) 18時30分～20時20分
- 2 開催場所 役場 B棟2階 会議室2
- 3 出席委員 佐藤正義、高橋義夫、渡會正、吉田勝紀
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 阿部課長補佐兼企画調整係長

1 開 会 (18:30)

2 協 議

(1) 第2次総合計画後期基本計画(案)に対する質問・確認事項について

協議の概要

■ヒアリング除外項目

P60・61:3-1-1 再生可能エネルギー総合的利活用

3-1-2 省エネルギー活動の促進 ⇒総務分科会へ

【資料依頼】地球温暖化対策計画・農山漁村再生可能エネルギー計画

P50-74:2-4-4 スポーツ施設の整備充実 ⇒文教厚生分科会へ

P74:3-5-1 身近な公園の整備と管理体制の充実 ⇒意見として伝えるのみとする

P76-79:3-6-2 消防団の活性化 ⇒総務分科会へ

【資料依頼】町職員の消防団加入状況、水防の出動件数

P84:3-8-2 高齢者世帯等の除雪の支援 ⇒文教厚生分科会へ

■ヒアリング事項の補足

3-6 消防・防災	市街地での排水対策について、毎回浸水する場所はわかっているのでなんとかできないものか。
3-8 雪対策	機械や軽トラックを持っていない場合、集めた雪を運びたくても道具がない。支援内容にあるのか。

以下、会議録

【会 長】最初に17ページの子育て支援について建設課に関わる部分。子育てしやすい環境の整備ということで、新設した意図や背景、狙い、事業内容ベンチマークについて質問を出させていたideきたいと思っています。これは南野の子育て応援住宅のことなのか。

【事務局】はい。南野が第1期ということで整備したもので、具体的に決まっているわけではないが、今後状況を見て、第2期第3期を想定しているというもの。

【会 長】そうなると狙いの部分はわかってはいるものの、改めて建設課には聞いてみたい。それから、今後どの程度のペースで新たな住宅を予定しているのかということもうかがってきたい。

【吉田委員】次に新エネルギーの関係ですが、なかなか不勉強で恐縮だが、地球温暖化対策計画や農山漁村再生可能エネルギー計画を見たことがないため、内容がわからずにいた。これは事前に資料等をいただいていたんでしたでしょうか。また、これは町の計画か、それとも県や国の計画か。

【事務局】おそらくは町の計画ではないとは思いますが。

【吉田委員】もし町の計画であるならば、これまでどのような取り組みをしてきたのか。61ページに「継続する」とあるが、その内容を知りたい。省エネルギーの方では、「啓発事業を進める」とあるが、具体的にどのような事業を進めていくのか。

【事務局】大変申し訳ないが、新エネルギーの項目に関しては、総務分科会の管轄になる。そのため、総務分科会のヒアリングにて資料提出・回答を求め、私が後程お答えするという形でのお願いか。

【吉田委員】わかりました。61ページの風車村観光促進事業について、風車村は実際活用されているものなのか。

【事務局】実際はシンボル風車であり、売電はしているものの、調整を図ったうえでとめているところである。

【吉田委員】誘客施策を図りますと書いてあるが、風車村を観光の拠点の一つとして振興していくということなのか。であれば、年間どのくらいの誘客を見込んでいるのか。また現在は年間どのくらいの入込があるのか。

【会 長】啓発事業では、施設内に省エネの展示や省エネの川柳を募集している。観光の拠点化という点では、昨年の例では、ほたる回廊を作ってほたるの見学会をするなどを行っている。ただ、省エネというよりは観光の企画の方が多く開催されているように思う。では、風車村の項目については、ヒアリング項目として挙げ、新エネルギーの関係は総務分科会にて環境防災課からヒアリングすることにする。

【会 長】次に上下水道の関係。上下水道の現状と課題、ガスとの関係で、企業課全般のことをヒアリングしたい。計画には現状と課題の記載もあり、私も今まで安心して使用してきたところだが、本当にそうなのか、隠れている大きな課題等ないのか一度聞いてみたいと思った。特にこの項目というのをあえてあげるとすれば、災害の時の保安、断水時の対応について。

【委員】それにプラスして、ベンチマークに鉛管がまだ15%残っているということのようだが、これは私有地だから手がつけられないということなのか。助成等はないのか。ゼロにするのは難しいということなのか。

【会 長】お客さんの財産ということ。助成はなかった。ただ、家を建て替えるようなときに、この際だから代えてくださいねという啓発はやっていないのか。その辺も聞きたい。

【吉田委員】下水道の水洗化率も現在ほぼ90%。10%は繋いでいないということ。

【事務局】清川の街中あたりまでは来ているのでは。あとは農業集落排水や合併浄化槽かと。

【会 長】道路までは下水の管が来ていても、多額の費用がかかるのでつながないというお宅もあるのでは。

【吉田委員】総合的費用では合併浄化槽の方が安い。それは人伝いに伝わっている（ので、つながない家もあるのでは）。下水道は高い。上水道を使えばその分かかるとのこと。

【会 長】衛生の面を考えるとつないでほしいが個人の負担となるので強制でのお願いはやはりできない。

- 【高橋委員】農業でたまに上水道を使うときに下水料金もかかってくるので、大量に使ったときはやはり下水道料金もそれなりにかかる。
- 【委員】ガスの関連で、うちはオール電化になっているのでガスが必要ない。お年寄り世帯も危ないからということでオール電化に替える家もある。
- 【委員】災害時に停電の時はガスがあって助かった。
- 【会 長】逆に地震の時などはどこかでガス管が壊れれば供給できないということになる。そういう保安体制も含めて、ヒアリング事項にしたいと思う。次に 74 ページの公園・緑化について。
- 【事務局】こちらは総務分科会の長南委員より挙げられた項目。道路の草刈りの現状についての質問。花のまち運動でそれまで花を植えていた交通島が、管理している方々が高齢化していることもあり管理をやめたことで草だらけの状況になっている。また、町道の歩道の草も生い茂っているので、この辺の管理について聞きたいということでした。交通島については、国の管理のため対応について依頼しているものの未対応ということでした。
- 【会 長】この部分は、ヒアリングではなく、このような意見も出ていたということで伝えることでいかがか。
- 【委員】異議なし。
- 【会 長】次の公園・緑化のスポーツ施設の関係も文教厚生分科会と。
- 【吉田委員】公園の位置づけがよくわからなかったが、ここの公園には、八幡スポーツ公園は含まれないのか。
- 【事務局】スポーツ公園となるので社会教育課となる。
- 【吉田委員】ここで挙げた内容は、各種大会などを開いた際に、みんな車で来るため駐車場が足りなくなるということです。なので、今後サッカー場の方の駐車場を拡張する等の計画はないのか等お聞きしたかった。
- 【事務局】実際毎年行う大規模事業調査には上がってきているが、優先順位をつけて行っていることもあり、近々実現するというものでもない。
- 【会 長】この項目は 4-3-6 でコンベンション機能の強化ということで、ここが産建に与えられている項目なのですが、ここに関わらせてあげては。
- 【事務局】4-3-6 は観光で、そうなると商工観光課になってしまう。八幡スポーツ公園のことをあげるといふことであれば、やはり社会教育課へのヒアリングとなるため、文教厚生分科会に依頼することとなる。
- 【会 長】続いて、消防防災について。
- 【事務局】3-6-2 は環境防災課担当のため、総務分科会となる。
- 【吉田委員】ではそちらでお願いします。これに関しては、計画を読むと消防団に参加しようという趣旨が書かれている。実際加わって 30 年になるが、新しい人に声掛けをすると「役場職員も入っていないのだから入りたくない」とも言われるので、実際何人くらい町職員が加わっているものか聞いてみたい。
- 【会 長】ではこちらの項目は総務分科会につなぐことにして、加入状況の資料について環境防災課より提供いただければと思う。
- 【吉田委員】もう一つ。最近大雨で排水のために出動することがあるが、ベンチマークにも水防の件数については出てきていないため、実際はどのくらいあるのか。

- 【会 長】ではこちら資料提供いただくということにします。
- 【事務局】この間の短時間大雨の時も和光町のあたりは浸水するので出動要請がくるが、和光町以外でも毎回浸水する場所はわかっているのではなかろうかと思う。
- 【委員】近年の異常気象で水害は増加してきている。ただ、消防団員も日中は勤めに行っていて、地域に残っている人は2・3人しかいないというのが現状。そのため何かあった際には消防団OBが対応せざるを得ない。
- 【吉田委員】その通り。だが、消火栓にホースをつなぐのはOKだが、ポンプ車を扱っていいのは消防団のみと決まっている。
- 【会 長】3-6-2については総務分科会に依頼。次に治山・治水対策について。
- 【吉田委員】先ほどお話したとおり。最近の状況だと最上川も決壊が心配される。
- 【会 長】これはそのまま出します。次の空家等対策の推進ということで、私があげました。価値がある空家については企画情報課だが、危険空家について対策はどうなっているのか。毎年事務事業評価はどうなっているのか。意図するところとしては、危険空家は年々増えていられると思われるため、早め早めの対応が必要と思っており、今回あげさせていただいた。
- 【事務局】一昨年までその担当だったが、法に関わる部分が多いということと、空家自体の相続者が不明であったり、相続放棄された空家等、持ち主（管理者）があやふやな場合がある。管理等の親族トラブルもあり、そこには民事であるため町は介入できない。空家苦情対応として空家の所有者へ連絡し指導は入れるも、遠方のため管理ができない、相続放棄してるから知らない、あるいは連絡がつかない等、解決の糸口が見えないものもある。解体には200万以上はかかるため、町でも解体について補助金は整備している。私有の危険空家の解体については、法により最終的に行政代執行に踏み切ることができるが、実際は町としてリスクが大きく現状は難しい。
- 【渡会委員】それは町にだけ責任を負わせられても困る。県・国に正していかなければならないのでは。
- 【事務局】強制的に町が壊せるという制度もあるが、費用負担の問題も出てくる。
- 【吉田委員】民法の財産権が強すぎる。
- 【会 長】様々問題があるため、出させていただいた。それから雪対策ということで、二つ出ていますが、3-8-2については保健福祉課担当のため文教厚生分科会となる。
- 【高橋委員】3-8-2について、私の集落でも一人暮らしの高齢者がいて、会長さんが除雪機を持っているのでたまに除雪してあげているようだ。町からの助成については申請すれば出るのか。
- 【会 長】高齢者だけの世帯については本人が申し出をすれば30分600円だったか、町で補助してくれる。玄関から道路までの敷地内。そのうち60円は本人負担。それから集落から少し離れて1・2軒ポツンとあるような場合も補助してくれる。
- 【吉田委員】私も質問を出したが、3-8-1「②地域において自主的に行う生活道路等の除雪を支援します」の内容がよくわからないためお聞きしたい。
- 【会 長】私が覚えているのは、お金の支援だった。毎年登録をしておいて、道路から玄関までの距離が長かった場合や除雪車が入れない町道である場合など、そこは集落で除雪してくださいということになり、費用は助成しますという制度だった。
- 【吉田委員】うちの集落だと、そこまで広い土地もないし、農家がないため、機械を持っている家もなく、軽トラックを持っている家もない。そのため、集めた雪をどこかに運んでいき

くても道具がない。その辺の支援があるのかどうかもお聞きしたい。

【会 長】こちらは質問として出していきましょう。ただ、高齢者世帯に関しては保健福祉課になりますので文教厚生分科会の方をお願いします。

【事務局】文教厚生分科会の方でヒアリング事項にあげさせていただきます。

【会 長】次に農林水産業について。私も出させてもらっていて、非常に難しいのですが、現状と課題について全般的に説明いただきたいのと、経営法人化の進捗状況、繁忙期の人手不足の解消に対する具体案を聞かせていただきたい。

【渡会委員】後継者育成について、計画に書かれている文面を見ると農協の現状と同じ。自分たちの今ある美田を維持していくためにはどうしていくべきか。規模拡大をとの話もあるが、それも限度がある。町内において農業を続けていくためにどのくらいの担い手が必要なのか、もっと積極的に取り組んでいかないといけない。後継者育成の施策はあるものの、例えば給料が350万を超えていると受けられないなど絵に描いた餅のようだ。もう少し具体的にこれからの方向性を示していかないと満足度が得られる回答にはならないと思う。

【吉田委員】計画の3ページ目に出てくる。「日本一おいしい米づくり」非常に重要な項目であり、もっと踏み込んで書くべき内容だと思う。

【会 長】確かに去年は日本一おいしい米が町内から出たが、そこだけでなく要は農家としてやっていって飯が食えるのかということだ。

【吉田委員】日本一農業所得が高い町が庄内町だということなら確かに日本一おいしい米づくりの町なのかもしれないが。

【渡会委員】ただおいしいだけではだめ。園芸部門が庄内町は後手にまわっている。

【吉田委員】花きについては、「世界一品質の高い花づくり」とあるが、「世界一」という表現がちょっとよくわからない。ここでしかつくっていない品質があるということか。

【事務局】これは町長のマニフェストからの抜粋かと思う。

【高橋委員】もともとは余目町時代のストックから始まった。トップブランドになり花き栽培のいいスタートを切ったところに、東京の市場のある社長が、トップブランド＝世界を目指す花というように町長に言ったためマニフェストに載ることになった。

【吉田委員】日本一の米づくりも同じく、花きも世界一を目指すためにどういった支援をするのかが見えてこない、進まないのではないかと思うので、聞いてみては。

【事務局】23日のヒアリングは厳しいかも。

【会 長】複合農業や畜産も含めて、農業所得は実際ふえているのかなど聞いてみたいところ。

【吉田委員】一千万も稼がないと暮らせないとすると、複合でもやらないと難しいのだろう。

【渡会委員】持っている田んぼの面積にもよるが、とつてもじゃないが複合なんてやってられないほどの作業量となる。農協の理事会でも言っているのだが、美田を守るための米農家と野菜や畜産をする農家で2分化していかなければ無理だと。

【吉田委員】花き農家は花だけで食べられているような感じなのか。この間NHKでやってた高橋さんも花き農家で紹介されていたが。

【高橋委員】高橋さんも米もやっている。やはり庄内町は基本は米農家だ。

【渡会委員】今一種類だけで生計が成り立つと聞くのはネギ。3・4人いる。野路栽培のネギのようだ。

【会 長】売れる農産物の開発や農業所得向上など、農業で生計をたてていくために今後どのような具体的な支援を行っていくのか町の考えを聞きたい。

【吉田委員】 実際新規就農者はいるのか。例えば東京で暮らしていた人が農業やりたいといってこちらに来てすぐ農業ができるわけではない。なにかいいモデルケース等ないのか。

【渡会委員】 山形市あたりだとあるらしいが。

【高橋委員】 私もヒアリング事項にあげているのですが、地域おこし協力隊ってこれまで何人かいますが、まだ町に定住された方は残念ながらいらっしやらない。花き栽培で来ている方は土地とハウスがあれば残りたいようなことも言っているようなので、その辺の支援策などあるのかどうか。

【渡会委員】 農協でも3棟くらいハウスを建てて、そこを新規就農者に貸し出してみるのという計画もあったが、現状農家であっても1棟のハウスも満足に使い切れていない農家も多いので意味ないと頓挫した。なかなか高額所得につながる作物はこの辺ではないので、新規就農者を募っても難しいだろうと。

【高橋委員】 やはり儲かっている姿を見てこそやってみようと思うところはあるはず。

【会 長】 農林水産業に関しては全般的な質問になると思うが、担当課から答えていただきたいと思う。一番下の農業生産基盤の部分について説明していただけるか。

【高橋委員】 このほ場整備も何十年と経過して老朽化し、なんといっても草刈り、法面の深いほ場がほとんどなので(面積がひろく)、広い田んぼを持っているような農家さんとそれこそ朝から晩まで毎日草刈りしないと追いつかない。草刈りの利便性等も考えて次世代ほ場整備をやっていかないと、これから続いていかないのではないかと思う。

【吉田委員】 自動化・無人化が進んでいるので、農業の近代化を町としても進めていくべきなのでは。

【会 長】 ではその辺も含めてヒアリングさせていただきます。次商工業・新産業について。中心市街地活性化計画を策定していないとあったのでなぜか。中心市街地というところどこなのか。商店街は8団体あるらしいが、そこが中心市街地となるのか。

【渡会委員】 企業誘致もやっているというが、人が雇用されるような企業誘致は行われていないように感じる。人口を増やすということでは、町内で雇用できる場所が増加することも重要。

【吉田委員】 考え方としては、工業団地を作ってそこに企業がくれば働く場所ができて町が活性化する。どこの市町村でもやっていることだが、庄内町の現状を見ると、特に駅前なんかはクラッセの中にちょこちょこっと入っているが大きい工場なんかはない状況。東京の企業の本社機能を地方に移すといった話が出ているわけなので、そういうので誘致できないか。

【委員】 実際町の商工業者は今回のコロナの影響をどのくらい受けているのか。

【吉田委員】 飲食業は特にひどいのでは。PTA等の飲み会がすべてなくなっている。

【会 長】 商工業についても、農林水産業と同じく全般的な質問となってしまうが、ヒアリング項目にあげたいと思う。次に商工観光課の中で商工業と別れて観光分野になります。稼げる観光産業づくりとは具体的にどういうことなのか。拠点となる宿泊施設の整備とは。もう一つは大滝委員は同じく出してくれている。こちらはそのままヒアリング項目とさせていただきます。

【会 長】 観光に力を入れると計画にも記載があるが、具体的になかなか見えない。

【吉田委員】 どこを観光するのかというのものもある。この間清川の関所に行ってみたが、あまりお客さんはいないかなという印象。羽黒古道なんかもあるが、あそこを登っていくとしてもお金は落ちない。

【渡会委員】 いくらでも長く滞在して、お金を落としてもらえるような場所があればだが。

【会 長】次に住宅・定住促進について。町営住宅の適正管理について、町営住宅はいくつあるのか、民営住宅の数は。入居率は。民間のアパートは今たくさん建っているイメージがあるため。分譲宅地開発支援については、どのような支援策なのか。

【吉田委員】もう一つは私で、うちの町内会はアパートもいくつかあって、アパートの管理者もいる。町が空家を改修して貸し出しをしているが、民間の経営が圧迫されるとの話も前にあったので、民間の状況について町としてどのように把握しているのか。あとは、家を用意して移住して来てもらうのも一つの作戦だが、家賃補助をして来てもらうというのもある。空家の改修にも相当の費用がかかっているはず。民間のアパートを支援するためにも家賃補助も一案では。

【会 長】そのことも含めてこれらについて質問する。それ以外にも質問が出てくれば、その場で出していこうかと思いますが、23日各課にお願いしている時間が30分程度。そのくらいでいかないと終わらない。そのため、各課にお願いしたいのは、あらかじめ資料で済むものは資料を準備しておいてもらう。皆さんにも、質問はいいのですが、自分の意見を言うていくとどうしても時間がかかってしまうので、聞きたいことを聞いて判断は後程としないと聞きたいことが聞けないということに。今日を感じを見ると、立川総合支所の質問は30分もかからないで終わりそうなので、その場合は商工観光課の皆さんに早めに来ていただいて対応いただくということで。

【会 長】23日全体終わったところで、ここについて意見を出していきたいところを皆さんに確認をいただきたい。29日の全体会時に分科会の時間はあるか。

【事務局】23日を経て分科会長会を行い、29日という流れを考えていますが、それもアリかと思う。

【会 長】できたら23日終わった時点で分科会として意見を出したい部分を皆さんに提示する。分科会会長会を経て、29日に短い時間ですが、皆さんに最終的な部分を確認していただきたいと思う。

【事務局】当初は4階の大会議室を想定していたが、この場所が空いたため、本日と同じくこの場所で行う。

【会 長】連休明けということでハードなスケジュールとなりますが、ヒアリングよろしくお願ひします。

5 閉 会 会 長

(20:20)